

できることリレー
(聞いて→つたえる伝言ゲーム)

() 組 なまえ_____

領域・形態・時間	話すこと [やり取り] ペア→別のペアへ伝言 15～20分
ねらい	友だちに Can you ...? で取材し、聞いたことを別の友だちに He/She can で伝える——三人称を使う必然性が生まれる伝言リレー。

やり方 この流れでやってみよう

- 1 Step 1: Interview. Can you swim? Can you cook?
ペアのあいてに Can you ...? で3つ取材してメモ
- 2 Step 2: Change pairs!
あいてを替える (さっきのあいてとは別の人へ)
- 3 Step 3: Report! Kenta can swim well!
さっき取材したことを He/She can で紹介 (伝言)
- 4 Step 4: Check! Really? Let's ask!
本人に Really? と確かめに行くと大盛り上がり (伝言が合っていたら両方に1ポイント)

取材メモ あいての「できること」を3つ見つけよう

あいての名前	Can you ...? (きいたこと)	こたえ
		Yes ・ No
		Yes ・ No
		Yes ・ No

きくことの例 : swim / cook / sing / dance / run fast / play the piano / play soccer / draw (絵カードから選んでもOK)

伝言のことば : This is Kenta. (この人はケンタさん) → He can swim well! (泳ぎが上手!) → 聞いた人は Wow! Really? と反応

ルール
①取材メモは○×だけでよい (書くより聞く) ②伝言では名前をまちがえない (そこだけは日本語でOK)
③Noだったことは伝言しない (できることだけをリレーする)

☆レベルアップ! 第2ラウンドは「先生取材」。全員の伝言が集まると「○○先生 can dance?!」のような新事実が発掘される (先生は正直に答えること)。

先生へ（運用のコツ・中間指導）

- ・リレーの肝は Step 3 の直前。「さっきの話、だれかに教えたくない？」の一言で He/She が必要になる——文法でなく必然で導入する
- ・He と She を言い分けられない子が必ずいる。中間指導で「男の子の絵→He! 女の子の絵→She!」の瞬発練習を30秒挟む
- ・Noと答えた内容を言いふらさないルールは人間関係の保険。最初に明示する